

ミラノより

渥美充代ニュースレター



家の近くの公園にあるモニュメント
こんな風にハグしながらあいさつできる日はまだ先の様です

新しい日常の中で

ミラノがあるイタリア・ロンバルディア州では、今月に入ってさらに規制緩和が進み、7月15日からは屋外でのマスク着用は「安全距離を保つことが不可能な場合にのみ必須」に変更されました。

しかしながらイタリア国内ではまだ1日の新しい陽性患者は250人(7月24日)を超えており、ロンバルディア州だけでも53人の新規感染者が報告されています。

イタリアでも第2波が警戒されていましたが、実はまだ第1波が終わっていないのだ、ということも言われています。

緩和措置後の日常生活においては、マスクをして外出し、お店に入店する際には検温やアルコール消毒液の使用などはあるものの、その他は以前と変わらない生

活にまで回復しているかのように思う時もあります。しかし、人との間は1メートルのソーシャルディスタンスをとり、会話をする時も飛沫が飛ばないようにお互いを気遣い、素手での握手やハグのあいさつは、「今はしない」という配慮が続く中にあり、私の身近なところではこれが一つの新しい日常（ニューノーマル）なのだと思わせられています。

今しばらくの間

コロナ後からニューノーマルに移りゆく生活の中で、しかしながら「これがいつまで続くのか」という思いは、体に絶えずある鈍痛のように誰もが抱えています。一旦その痛みを激しく感じてしまうと、それは将来への不安、焦り、怒り、諦め、虚しさとなって私たちを囚えて離さないのです。

「そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいきます。今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならぬのですが、試練で試されたあなたがたの信仰は、火で精錬されてもなお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光を誉れをもたらします」第1ペテロの手紙1:6,7

ペテロは迫害の中にあるクリスチャンに向かって神様がイエス・キリストを通してくださった救いの恵みの豊かさを思い起こさせ、苦難の中にある彼らにイエス・キリストを信じた者たちのアイデンティティに目を留めさせます。道に迷った人が、自分が今どこにいるのか地図を広げるように、イエス・キリストを信じた者はどういう者となったのか確認させるのです。そして先が見えない不安と恐れの中にいる彼らに、試練は永遠に続くのではなく、今しばらくの間であること、永遠に続くものは信じる者が神様からいただいた永遠のいのちであることを思い出させます。

今の試練が、金が火で精錬されていく工程に重ねられ、それよりもあなたがたの練られた信仰は高価であり、将来イエス・キリストからの称賛を受けるのだと励ますのです。

7月19日のミラノ賛美教会の会堂礼拝ではこの第1ペテロの手紙1：6～9節から「栄えに満ちた喜び」と題しメッセージを取りつがせていただきました。その会堂でのメッセージ動画がミラノ賛美教会のYouTubeチャンネルでも公開されています。マイクの響き方から400人収容できる大きな会堂の様子や韓国語の通訳が入る雰囲気も伝わるかと思います。お時間がある時にご覧いただければ幸いです。



ミラノ賛美教会のYouTube公式チャンネルで公開されているオンライン礼拝メッセージ写真は担当した7月19日の礼拝

ミラノ賛美教会の公式YouTubeチャンネルにはメッセージ動画の他に賛美の動画、リモート賛美などもアップされています。特に今月は新しく「使徒信条のうた」というリモート賛美が完成しました。礼拝で告白する使徒信条にメロディーが付き、今回はキーボード、歌のほかに打楽器のマリンバも入りました。豊かな響きが増し加わり、合わさったときの感動はひとしおでした。みなさんにもぜひ聴いていただきたいです。

お祈りください

- * 霊肉たましいが守られ必要が満たされるように
- * 会堂礼拝、オンライン礼拝の祝福のため
- * 新たな感染からの守りのために
- * 経済的な困難や病の中にある教会メンバーのために

日本は東京や他の地域でも感染者が増え続けているとの報道を見ました。これから暑さも本格的になっていく中で、新たな感染への主の完全な守りがあることをお祈りしています。神様の平安が皆さんと共にありますように。

絶え間ないお祈りとご支援に感謝し
愛を込めて 渥美充代

いつもイタリア・ヨーロッパの日本人宣教のため、お祈りくださりありがとうございます。また、実際的なサポートをもって神様に応答して下さるお一人おひとりに心より感謝いたします。渥美充代

新宿シャローム教会内
ゆうちょ銀行
口座番号：00190-0-484800
口座名義：渥美充代さんを支える会